

東北農政局長表彰を受賞しました。

当社は、令和5年12月14日に令和5年度東北農政局所管農業農村整備事業等優良工事等の表彰において、東北農政局長表彰を受賞しました。

業 務 名：令和4年度 国営造成施設総合水利調整管理事業
赤川地区他河川協議方針検討業務
(東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所発注)

業 務 概 要：本業務は、赤川地区及び仙北平野地区の水利権更新に向けて、河川協議の方針検討を行うとともに、最上川中流地区及び白川地区の水利権に係る課題解決のため、取水量観測、河川流量観測、及び最上川下流地区の融雪豊水取水に係る実証調査を行うものです。河川協議の方針検討は、赤川地区は①受益面積等の整理、②協議図書添付図面の修正、③水田畑利用率の検討、④落水期面積率の再考、⑤反復可能量の検討、⑥水収支計算の試算、⑦取水量算定方法の検証であり、仙北平野地区は①②③⑥です。取水量観測は水位計の設置等、河川流量観測は河川測量、水位計の設置、低水流量観測等です。実証調査はドローンによる流水域の動画撮影と水質調査です。

表 彰 理 由：以下の点において、優良業務として評価されました。

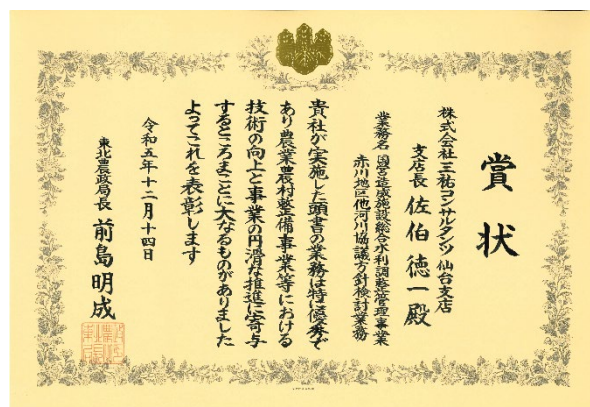
【最上川下流地区における融雪豊水取水に係る実証調査を短期間で計画・実施】

- ・河川管理者との融雪豊水取水の協議に際して、実証調査の条件として調査期間5ヶ年程度が示され、有識者等の助言を参考に調査方針の検討を進めたところ、代かき開始日前の流量データ等の収集が必要となった。業務契約直後での作業追加指示となったが、受注者は迅速且つ柔軟に対応し、僅か数日足らずで事前調査、耐風性ドローンを用いた河川流況撮影のための人材・機器の手配、調査計画書・飛行計画書の作成等を行い、調査計画の許可を得て、必要な時期の調査を実施したものである。
- ・R4年度が初年度調査であり、前例のない調査であったが強風地域などの気候特性を勘案の上、耐風性ドローン使用の提案・実施により確実な調査結果を得た。
- ・本調査は、今後の東北、北陸地方における融雪豊水取水に資する調査手法の礎をなすものと思われる、特に河川流況撮影は協議資料として有意義なものであったほか、確実且つ丁寧を実施した調査取りまとめ資料は、河川管理者及び有識者等の関係者から速やかな了承を得ることに繋がった。

管理技術者：本社総合計画部 坂田裕昭
照査技術者：本社総合計画部 佐々木昌昭
担当技術者：本社総合計画部 小島嘉幸、森菜摘、桐原真衣
履 行 期 間：令和4年4月7日～令和5年2月28日



授与式後の記念撮影



表彰状